

くすくす新聞

2020.05 Vol.59



夏も近づく八十八夜。暖かくなり、日におびき汗がにじみお程の気候になってきました。
 新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の延長が決まりました。当院では今まで通り滅菌等を行い、感染予防に努め、また患者様方へは予約日時調整を行い密な状況を作らないように引き続き診療して参ります。
 ご理解ご協力お原泉い致します。



nicotweets

DHコラム



Q. フロスと歯間ブラシ、どう使い分ける?

A. フロスを基本に、歯間のサイズに合わせて歯間ブラシを

歯と歯のあいだにすき間が無いならフロスを、すき間が開いているなら歯間ブラシを、というのがよく言われています。

歯間ブラシをお使いになる場合、様々なサイズがあるので、どれが自分に合っているのかを、衛生士に相談する事をおすすめしています。

日本の歯みがきの歴史

縄文人や弥生人の発掘された歯には、表側の腐食やすい所に多くの虫歯がみられます。指や原子的な物で磨いていけば、ここに虫歯が多いというのは考えづらく、この頃の歯の衛生用具等も出土していません。

日本に初めて歯の衛生についての知識が伝わったのは6世紀後半、仏教と共に伝わったようです。

平安時代になると、日本最古の医学書に「朝夕歯を磨けば虫歯にならぬ」「食事をしたときは数回うがいをすれば良い」等と記載されています。

しかし、そうした歯の衛生習慣は上流階級のみに限られ、一般庶民にまで身に付いたのは江戸時代からのようです。指で磨くほか、ヤジの幹や枝を削って使っていたようです。日本人の歯みがき習慣は意外に新しいのですね。



くすくす						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 休	4 休	5 休	6 休	7	8	9
10 休	11	12	13	14	15 12:00~ 14:30 (休)	16
17 休	18	19	20	21	22	23
24 休	25	26	27	28	29	30

前橋市総社町総社1135-1
 TEL: 027-226-1243
 FAX: 027-226-1299



HP: <http://kusunoki-shika.jp>
 くすのき歯科・矯正歯科

